

営業状況等統計調査

(令和元年度財務諸表等より)

— 令和2年度 —

<解 説 編>



日本
旅館
協会

一般社団法人 日本旅館協会
JAPAN RYOKAN & HOTEL ASSOCIATION

令和2年度 営業状況等統計調査

目 次

<解説編>

会員数と回答旅館ホテルの内訳.....	2
はじめに	3
報告書の読み方	4
 I.基本調査.....	5
1. 回答旅館ホテルの規模.....	5
2. 貸借対照表.....	6
3. 売上構成比.....	7
4. 宿泊客1人当り売上	8
5. 定員稼働率・客室稼働率.....	10
6. 売上効率	11
7. 原価率	12
8. 経費率.....	13
9. 利益率.....	15
10. 就業者数.....	16
11. 就業者効率.....	17
12. 建物面積効率.....	18
13. 資本効率・借入金償還年数.....	19
 II.全件調査.....	20
1. 集客方法.....	20
2. ホームページ	21
3. 外国人宿泊客.....	22
4. インターネット対応	23
5. クレジットカード&電子決済	24
 むすび.....	24
令和2年度 営業状況等統計調査票、経費計算用シート.....	25

会員数と回答旅館ホテルの内訳

会員数（令和 2 年 7 月 1 日現在）

地域（支部連合会）	会 員 数	区 分
北 海 道	185	北海道
東 北	249	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関 東	411	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
北陸信越	419	新潟県、富山県、石川県、長野県
中 部	289	福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
関 西	344	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中 国	147	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四 国	128	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九 州	230	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
合 計	2,403	



●旅館営業とは、宿泊料金に夕食・朝食を含む。

大旅館……客室数 100室以上

中旅館……客室数 31室以上99室以下

小旅館……客室数 30室以下

●ホテル営業とは、宿泊をルームチャージで販売するところ。

<回答旅館ホテルの内訳>

	有効回答数(軒)	有 効 回 答 数 (軒)			黒字旅館の数 (軒)	黒 字 比 率 (%)	総回答数 (軒)
		大 旅 館	中 旅 館	小 旅 館			
旅 館	194	39	97	58	100	51.5	241
大旅館	39	39	-	-	21	53.8	45
中旅館	97	-	97	-	50	51.5	112
小旅館	58	-	0	58	29	50.0	84
北海道	16	7	7	2	12	75.0	20
東北	21	3	12	6	6	28.6	26
関東	31	5	16	10	16	51.6	36
北陸信越	24	1	15	8	13	54.2	33
中部	24	7	12	5	9	37.5	27
関西	32	4	15	13	21	65.6	43
中国	15	5	5	5	5	33.3	19
四国	15	3	7	5	10	66.7	18
九州	16	4	8	4	8	50.0	19
黒字旅館	100	21	50	29	100	100.0	138
赤字旅館	94	18	47	29	0	0.0	103
ホ テ ル	14	0	10	4	6	42.9	17

(注) 損益計算が十分な回答を有効とした。全軒調査は有効回答に加え損益計算が不十分な回答も対象としている。

<はじめに>

この調査は当協会のすべての会員に調査票を送付して実施しています。今回は 258 軒の会員から回答が寄せられました。ご協力頂いた会員各位にはこの紙面をお借りしお礼申し上げます。

観光産業は世界的に成長産業であり、我が国にとっても数少ない成長産業であります。インバウンド消費額は輸出とカウントされますので、新型コロナウイルス感染拡大以前観光産業は自動車産業に次ぐ 2 番目の産業となりました。そしてその中心は旅館ホテルです。

しかしながら新型コロナウイルスの影響により、観光産業、旅館ホテルは甚大な影響を受けました。当協会は会員旅館ホテルの経営を支えるべく諸政策を提言し陳情し実現を図ってまいりました。

まだまだコロナ禍は続きますが、皆様と一緒にこの難局を切り開いて参りたいと思っております。

この調査は元年度（令和 2 年 3 月末）の調査ですが、令和 2 年 8 月に実施しましたので、新型コロナウイルスによる影響が一部で反映されております。

また、協会本部の会費免除等による費用節約の為に、今まで外注していた集計や解説編のコメント作成を内製化したことにより大幅に発表が遅れましたこと深くお詫び申し上げます。

(1)対象年度の振り返り

ア) 令和元年（2019 年）の訪日外国人は 3,188 万人でしたが、令和 2 年（2020 年）は 87%減少し、411 万人となりました。

イ) 訪日外国人の旅行消費額も 2019 年は 4 兆 8,135 億円でしたが、2020 年は観光庁の調査で約 84%減の 7,446 億円という試算が出ております。

ウ) 2019 年の日本人国内旅行消費額は 21 兆 9,312 億円でしたが、2020 年は 55%減の 9 兆 8,982 億円になりました。

(2)今年度調査の回答率 <表 1>

今年度の調査票発送部数は 2,403 軒、回答数は 258 軒、有効回答は旅館 194 軒、ホテル 14 軒の合計 208 軒でした。全体に占める有効回答率は 8.7%

でした。

規模別の有効回答数の前年比をみると

- ・大旅館 39 軒（前年度比 +3 軒 +8.3%）
- ・中旅館 97 軒（前年度比 +21 軒 +27.6%）
- ・小旅館 58 軒（前年度比 +8 軒 +16.0%）
- ・ホテル 14 軒（前年度比 +3 軒 +27.3%）

(3)黒字・赤字の割合 <図 1、表 2>

経常利益で黒字・赤字を区分しています。旅館全体では 51.5%となり前年度から 13.3P と大幅に減少しました。全ての規模で黒字旅館の割合が低下しました。一部の旅館ホテルにおいて新型コロナウイルスの影響が反映されている決算書によるものと思われます。

- ・大旅館 53.8%（前年度比 ▲15.6P）
- ・中旅館 51.5%（前年度比 ▲11.7P）
- ・小旅館 50.0%（前年度比 ▲14.0P）
- ・ホテル 42.9%（前年度比 ▲20.7P）

図1 黒字旅館の割合 (単位: %)

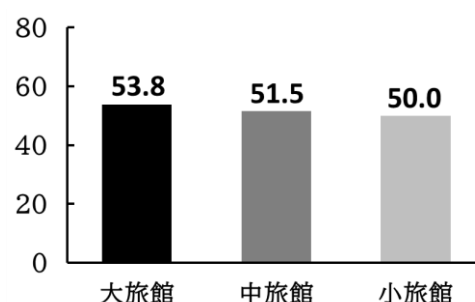


表1 有効回答旅館の推移 (単位: 軒)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
平成 26年	50	111	83	244	23
27年	35	123	84	242	29
28年	45	116	93	254	25
29年	41	97	60	198	27
30年	36	76	50	162	11
令和 元年	39	97	58	194	14

表2 黒字旅館の推移 (単位: %)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
平成 26年	80.0	57.7	56.6	61.9	69.6
27年	80.0	76.4	66.7	73.6	86.2
28年	75.6	71.6	63.4	69.3	68.0
29年	73.2	68.0	50.0	63.6	77.8
30年	69.4	63.2	64.0	64.8	63.6
令和 元年	53.8	51.5	50.0	51.5	42.9

報告書の読み方

(1)調査の概要

この調査は「Ⅰ.基本調査」と「Ⅱ.全件調査」の2部構成となっています。基本調査は損益計算や客室数、利用人員等の記述が十分な回答（有効回答）に絞って集計しています。一方、全件調査は回答した旅館ホテルのすべてを対象として集計しています。

また規模別集計は客室数を基準としています。

- ・大旅館：100室以上
- ・中旅館：31室以上99室以下
- ・小旅館：30室以下

さらに、経常利益を基準に「黒字旅館」「赤字旅館」としています。

ホテルにおいては回答数が限られることから内訳の分析は行っていません。

(2)今回の主な設問

・今回は前回と同じ設問にし、基本的に変えていません。

(3)解説編の表記方法 <表3>

- ・この調査は令和元年度の決算書を対象に令和2年度に実施しています。各表の最新年度は「令和元年」と表記しています。
- ・前年度との比較:例えば「大旅館 20,000 円 (▲500 円、▲2.4%)」と表記した場合、20,000 円は今年度の集計結果であり、() 内は前年度との比較を示します。
- ・数値が前年度を上回るときは「+」、下回るときは「▲」を付します。
- ・%同士の引き算（例えば 14.4%－14.7%）の結果を%で表記すると 100 分率との混同がありますので、単位をポイントとし「P」と表記します。
- ・本文中の数値は四捨五入のうえ表記します。
- ・多くの決算書で「経費」や「販売管理費及び一般管理費」等と記される科目は表3の通り当協会の「統一会計基準」による区分としました。
- ・解説は旅館を中心におこない、ホテルについては行頭に（ホテル）と明記しています。

(4)資料編について

資料編は集計結果のみを掲載しています。留意点は次のとおりです。

- ・調査は任意回答であるために一部に無回答があります。そこで項目ごとに集計対象を見直しています。
- ・旅館平均、規模別、地域別、黒字・赤字別に集計していますが、その場合も以下のようにその都度計算する対象を見直しています。

旅館の原価率

＝旅館の原価÷旅館の売上

黒字旅館の原価率

＝黒字旅館の原価÷黒字旅館の売上

赤字旅館の原価率

＝赤字旅館の原価÷赤字旅館の売上

- ・回答された調査票のうち売上等内訳を記載しないまとめ書きについては按分しています。
- ・さらに、異常値といえる過大あるいは過少の数値については、その項目を不明としています。
- ・また回答が2軒以下の場合は、算出されて数値はブランクとしています。例えば、P10 表 13 地域別稼働率では北陸信越の大旅館は回答が1軒であるために表示していませんが、北陸信越の平均には大旅館の結果も含まれます。

表3 経費区分

人 件 費	役員報酬、給料、退職金、法定福利費、厚生費、外注・委託費、求人費、教育研修費、賞与
営 業 費	販売促進費、営業所費、営業交通費、接待交際費、広告宣伝費、販売手数料
業 務 費	サービス費(リネン、客室消耗品費、アメニティ)、備品消耗品費(食器、厨房用品、装飾費)、修繕費、保守修繕費、衛生費、車両費、水道光熱費、通信運搬費
管 理 費	リース料、会費・組合費、地代・家賃、顧問料・調査費、保険料、租税公課、事務用消耗品費、雑費
減 価 償 却 費	建物、構築物、機械等の減価償却費

I.基本調査

基本調査は旅館ホテルの経営状況を分析します。

1. 回答旅館ホテルの規模 <表 4、表 5>

(1)総客室数・収容人員

1 軒当り客室数は 70 室、収容人員 284 名となっています。規模別では、

- ・大旅館 173 室 (+5 室 +3.0%)
- ・中旅館 61 室 (+4 室 +7.0%)
- ・小旅館 18 室 (▲1 室 ▲5.3%)

収容人員は、

- ・大旅館 659 人 (▲20 人 ▲2.9%)
- ・中旅館 257 人 (▲7 人 ▲2.7%)
- ・小旅館 80 人 (+2 人 +2.6%)

と大旅館・中旅館においては部屋数が増えているにも関わらず収容人員が減少しています。ゆったりとくつろげる空間を求めるお客様のご要望に沿って 1 室当りの定員が減ったものと推測できます。

(ホテル) 客室数 47 室、収容人員 77 人となっています。

(2)1 室当り定員

1 室当り定員＝収容人員÷総客室数

1 室当り定員は、和室を中心とする旅館で多く、洋室が中心のホテルは少なくなっています。旅館の 1 室当り定員は 4.0 人で前年度比 0.3 人減りました。

(ホテル) 1 室当り定員は 1.6 人となっています。

(3)総売上高

令和元年度の 1 軒当りの総売上高は、旅館全体で 6 億 8,252 万円、前年度比▲17.2%

- ・大旅館 17 億 647 万円
(▲2 億 1,108 万円 ▲11.0%)
- ・中旅館 6 億 307 万円
(▲1 億 293 万円 ▲14.6%)
- ・小旅館 1 億 8,232 万円
(▲3,406 万円 ▲15.7%)

全ての規模において減少しています。新型コロナウイルスの影響と思われます。

黒字・赤字別では、売上高に顕著な差があります。

- ・大旅館 黒字：17 億 4,525 万円
赤字：16 億 6,963 万円
- ・中旅館 黒字：7 億 722 万円
赤字：4 億 7,494 万円
- ・小旅館 黒字：2 億 2,223 万円
赤字：1 億 3,925 万円

(ホテル) 総売上高は 2 億 20 万円で、前年度から 5.8%減少しました。

(4)年間宿泊人員

年間宿泊人員は、旅館全体で 36,170 人 前年度比▲9.6%で、全ての規模で減少しました。

- ・大旅館 8 万 7,337 人
(▲6,964 人 ▲7.4%)
- ・中旅館 3 万 2,682 人
(▲1,413 人 ▲4.1%)
- ・小旅館 7,419 人
(▲2,551 人 ▲25.6%)

(ホテル) 年間宿泊人員は 16,590 人となり、前年度比 13.6%減少しました。

表 4 1 軒当り総客室数・収容人員・1 室当り定員

年度		(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
総客室数（室）	平成 26年	158	55	18	64	99
	27年	155	58	19	59	88
	28年	149	56	20	59	64
	29年	166	56	19	67	68
	30年	168	57	19	70	65
	令和 元年	173	61	18	70	47
収容定員（人）	平成 26年	687	242	76	277	178
	27年	656	265	79	257	143
	28年	657	254	87	264	98
	29年	716	255	81	298	141
	30年	679	264	78	299	116
	令和 元年	659	257	80	373	77
1室当り定員（人）	平成 26年	4.4	4.4	4.2	4.4	1.8
	27年	4.2	4.5	4.2	4.4	1.6
	28年	4.4	4.5	4.4	4.5	1.5
	29年	4.3	4.6	4.2	4.4	2.1
	30年	4.0	4.7	4.1	4.3	1.8
	令和 元年	3.8	4.3	4.4	4.0	1.6

表 5 総売上高、年間宿泊人員

	年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
総売上高 (万円)	平成 26年	184,817	60,218	19,413	71,870	76,481
	27年	212,010	69,157	20,071	72,870	72,516
	28年	189,102	58,865	22,731	68,709	23,133
	29年	225,303	62,789	19,154	83,218	42,585
	30年	191,755	70,600	21,638	82,412	21,259
	令和 元年	170,647	60,307	18,232	68,252	20,020
年間宿泊人員 (人)	平成 26年	94,992	30,415	8,966	36,352	35,068
	27年	94,275	34,704	9,803	34,676	29,959
	28年	91,766	32,953	10,859	35,283	19,948
	29年	111,841	33,646	9,375	42,483	26,375
	30年	94,301	34,095	9,970	40,028	19,203
	令和 元年	87,337	32,682	7,419	36,170	16,590

2.貸借対照表 <表 6、表 7、表 8>

(1)資産の状況

1 軒当りの総資産額は、

・大旅館 33 億 3,354 万円

(▲3,680 万円 ▲1.1%)

・中旅館 10 億 672 万円

(▲1 億 7,130 万円 ▲14.5%)

・小旅館 3 億 69 万円

(+1,650 万円 +5.8%)

(ホテル) 総資産額は 3 億 2,475 万円

① 流動資産

流動資産は現預金や売掛金など流動性の高い資産です。総資産に占める割合は 20.3%と前年度と比べ 1 ポイント増加しました。

(ホテル) 11.0%で前年より大幅に減少しました。

② 固定資産

固定資産は総資産の 79.5%を占め、前年度より減少しましたが依然として高水準です。宿泊産業が装置産業であるという実態を示しています。

(ホテル) 88.9%で前年より増加しました。

(2)負債・資本の状況

① 流動負債

流動負債は、1 年以内に返済や支払が予定される短期借入金や買掛金、預り金等です。今回の調査で総資本に占める割合は 16.7%でした。

資金繰り上、流動負債を流動資産が上回ることが健全です。規模別では、大旅館が 13.2%、中旅館が 20.7%、小旅館が 19.5%でした。

② 長短借入金

長期借入金と短期借入金の合計が総資本に占める割合は 78.9%となり、前年度より 12 ポイント増加しました。新型コロナウイルスの影響により借金体質がより顕著になりました。

③ 自己資本(純資産)比率

企業の安全度・健全度を示す最も重要な指標です。

基本的には過去の利益の積み重ねですので、金融機関が重視する指標です。

規模別で大旅館は 23.2%、中旅館で 12.6%、小旅館で 22.0%、全体で 17.6%でした。

最低目標である 20%を中旅館は下回っています。

(ホテル) 10.4%でした。

表 6 1 軒当り資産

(単位：万円)

	年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
総資産額 (万円)	平成 26年	283,044	88,420	26,652	108,992	207,953
	27年	392,031	120,336	33,003	129,993	219,010
	28年	296,288	85,902	30,201	101,287	57,157
	29年	419,353	86,147	27,187	141,210	78,039
	30年	337,034	117,802	28,419	145,390	44,798
	令和 元年	333,354	100,672	30,069	126,146	32,475
長短借入金合計 (万円)	平成 26年	224,596	70,305	17,064	85,129	52,095
	27年	250,610	75,457	21,940	82,641	66,109
	28年	236,663	65,767	19,785	77,989	38,362
	29年	264,438	61,773	15,830	92,120	70,639
	30年	208,699	88,571	16,840	97,317	28,671
	令和 元年	265,406	78,858	23,003	99,568	25,353

表 7 貸借対照表

(単位：%)

	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
流動資産	21.2	19.2	19.7	20.3	11.0
固定資産	78.8	80.4	79.9	79.5	88.9
繰延資産	0.0	0.4	0.4	0.2	0.1
資産の部合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
流動負債	13.2	20.7	19.5	16.7	24.2
(うち短期借入金)	9.5	15.6	15.8	12.5	21.5
固定負債	63.6	66.7	58.5	65.8	65.4
(うち長期借入金)	70.2	62.7	60.7	66.5	56.6
(長短借入金合計)	79.6	78.3	76.5	78.9	78.1
純資産	23.2	12.6	22.0	17.6	10.4
負債・資本の合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表 8 資産と借入金

(単位：%)

年度		(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
流動資産	平成 26年	20.0	17.3	21.4	19.1	21.6
	27年	24.0	22.1	17.6	22.5	16.8
	28年	18.7	16.2	21.0	18.0	16.5
	29年	24.9	19.0	21.0	23.0	20.1
	30年	19.2	19.0	23.2	19.3	23.3
	令和 元年	21.2	19.2	19.7	20.3	11.0
固定資産	平成 26年	79.8	82.1	78.1	80.5	77.7
	27年	75.8	77.6	81.8	77.2	83.2
	28年	81.2	83.7	78.6	81.9	83.1
	29年	75.1	80.9	78.7	77.0	79.8
	30年	80.8	80.7	76.6	80.5	76.7
	令和 元年	78.8	80.4	79.9	79.5	88.9
長短借入金合計	平成 26年	79.4	79.5	64.0	78.1	25.1
	27年	63.9	62.7	66.5	63.6	30.2
	28年	79.9	76.6	65.5	77.0	67.1
	29年	63.1	71.7	58.2	65.2	90.5
	30年	61.9	75.2	59.3	66.9	64.0
	令和 元年	79.6	78.3	76.5	78.9	78.1

3.売上構成比 <図2、表9>

総売上の内訳は「宿泊料理売上」「飲物売上」「売店売上」「その他売上」としています。

記述がない回答については、主に平均値から補足し推定しています。

(1)宿泊料理売上

旅館の平均でみると総売上に占める宿泊料理売上は72.7%で6年ぶりに減少しました。

- ・大旅館 74.3% (+0.8P +1.1%)
- ・中旅館 69.7% (▲8.7P ▲11.1%)
- ・小旅館 79.6% (▲1.7P ▲2.1%)
- (ホテル) 35.3% (▲35.5P ▲50.1%)

黒字・赤字別

- ・全体 黒字：74.6% 赤字：71.6%
- ・大旅館 黒字：78.0% 赤字：70.7%
- ・中旅館 黒字：70.4% 赤字：71.6%
- ・小旅館 黒字：79.7% 赤字：79.5%

(2)飲物売上

飲物売上の構成比は、旅館の平均で6.0%、前年比1.1ポイント増加しました。

- ・大旅館 4.4% (▲0.8P ▲15.4%)
- ・中旅館 7.7% (+3.0P +63.8%)
- ・小旅館 6.3% (+1.8P +40.0%)
- (ホテル) 4.8% (+2.2P +84.6%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：6.5% 赤字：5.3%
- ・大旅館 黒字：3.4% 赤字：5.3%
- ・中旅館 黒字：9.5% 赤字：4.9%
- ・小旅館 黒字：5.1% 赤字：8.2%

(3)売店売上

売店売上の構成比は、旅館の平均で4.7%、前年比0.3ポイント減少しました。また長期的にも低下傾向にあります。お客様の潜在的な需要に応える品揃えが出来ていないのかもしれません。

- ・大旅館 6.1% (▲0.1P ▲1.6%)
- ・中旅館 3.4% (▲0.2P ▲5.6%)
- ・小旅館 3.9% (+0.2P +5.4%)
- (ホテル) 0.2% (▲1.8P ▲90.0%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：5.0% 赤字：4.5%
- ・大旅館 黒字：6.9% 赤字：5.4%
- ・中旅館 黒字：3.5% 赤字：3.3%
- ・小旅館 黒字：3.9% 赤字：3.7%

(4)その他売上

その他売上の構成比は、旅館の平均で16.6%、前年比2.6ポイント増加しました。

- ・大旅館 15.2% (+0.2P +1.3%)
- ・中旅館 19.2% (+5.9P +44.4%)
- ・小旅館 10.2% (▲0.4P ▲3.8%)
- (ホテル) 59.6% (+35P +142.3%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：14.0% 赤字：18.6%
- ・大旅館 黒字：11.7% 赤字：18.6%
- ・中旅館 黒字：16.7% 赤字：20.2%
- ・小旅館 黒字：11.3% 赤字：8.5%

図2 売上構成比 (単位：%)

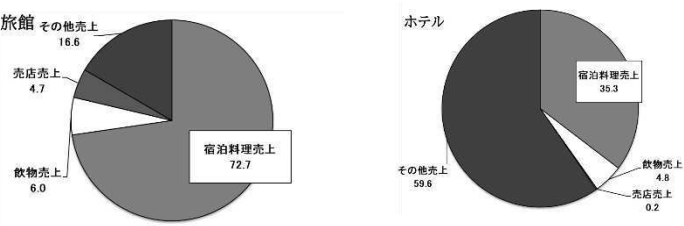


表9 売上構成比 (単：%)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
宿泊料理売上	平成 26年	70.5	68.2	67.2	69.3
	27年	73.8	71.6	68.6	72.2
	28年	72.4	76.5	74.2	74.2
	29年	72.6	76.3	80.2	74.5
	30年	73.5	78.4	81.3	76.1
	令和 元年	74.3	69.7	79.6	72.7
飲物売上	平成 26年	6.2	6.1	6.4	5.3
	27年	5.5	5.1	5.9	5.7
	28年	5.3	5.1	5.5	5.3
	29年	4.8	6.1	5.3	5.4
	30年	5.2	4.7	4.5	4.9
	令和 元年	4.4	7.7	6.3	6.0
売店売上	平成 26年	6.6	4.6	3.3	5.5
	27年	6.8	4.3	3.9	5.3
	28年	6.3	4.4	3.6	5.2
	29年	5.6	4.2	3.5	4.9
	30年	6.2	3.6	3.7	5.0
	令和 元年	6.1	3.4	3.9	4.7
その他売上	平成 26年	-	-	-	-
	27年	-	-	-	-
	28年	-	-	-	-
	29年	16.9	13.3	11.0	15.2
	30年	15.0	13.3	10.6	14.0
	令和 元年	15.2	19.2	10.2	16.6

4.宿泊客1人当り売上 <図3、表10、表11>

宿泊客1人当りの売上は、売上を宿泊客数で除してお客様単価を求めています。

(1)宿泊客1人当り総売上

1人当り総売上＝総売上÷宿泊人員

旅館の平均は19,066円となり、前年度から1,523円減少しました。

- ・大旅館 19,539円 (▲795円 ▲3.9%)
- ・中旅館 18,610円 (▲2,097円 ▲10.1%)
- ・小旅館 24,768円 (+3,064円 +14.1%)
- (ホテル) 13,369円 (+2,298円 +20.8%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：20,001円 赤字：17,748円
- ・大旅館 黒字：19,059円 赤字：20,655円
- ・中旅館 黒字：22,061円 赤字：17,681円
- ・小旅館 黒字：28,616円 赤字：22,987円

(2)宿泊客1人当り宿泊料理売上

1人当り宿泊料理売上＝宿泊料理売上÷宿泊人員

旅館の平均は13,715円となり、前年度から1,955円減少しました。

- ・大旅館 14,525円 (▲426円 ▲2.8%)
- ・中旅館 12,864円 (▲3,369円 ▲20.8%)
- ・小旅館 19,562円 (+1,923円 +10.9%)
- (ホテル) 4,262円 (▲3,577円 ▲45.6%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字 14,665円
- ・赤字 12,697円

(3)宿泊客1人当り飲物売上

1人当り飲物売上＝飲物売上÷宿泊人員

旅館の平均は1,213円となり、前年度から197円増加しました。

- ・大旅館 852円 (▲200円 ▲19.0%)
- ・中旅館 1,548円 (+571円 +58.4%)
- ・小旅館 1,682円 (+711円 +73.2%)

(ホテル) 683円 (+396円 +138.0%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字 1,363円
- ・赤字 1,007円

図3 お客様1人当りの総売上高の推移(円)

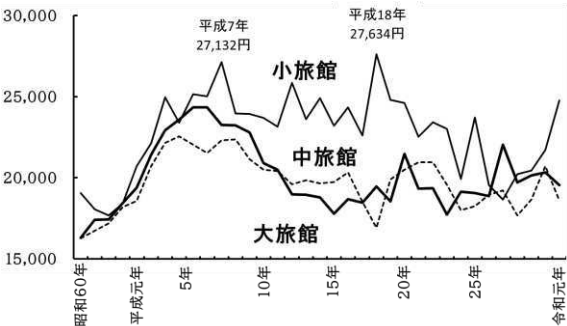


表10 宿泊客1人当りの総売上高 (単位：円)

	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
平成 26年	18,866	18,962	19,542	18,959	20,792
27年	22,036	19,223	18,664	20,274	22,519
28年	19,709	17,673	20,230	18,899	11,527
29年	20,145	18,662	20,431	19,589	16,146
30年	20,334	20,707	21,704	20,589	11,071
令和 元年	19,539	18,610	24,768	19,066	13,369

表11 宿泊客1人当りの売上高 (単位：円)

	年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
宿泊料理売上	平成 26年	13,720	13,496	14,549	13,704	7,194
	27年	16,587	14,271	14,050	15,160	7,935
	28年	14,919	13,662	15,535	14,452	5,416
	29年	14,635	14,254	16,390	14,604	7,538
	30年	14,951	16,233	17,639	15,670	7,839
	令和 元年	14,525	12,864	19,562	13,715	4,262
飲物売上	平成 26年	-	-	-	-	-
	27年	-	-	-	-	-
	28年	-	-	-	-	-
	29年	976	1,140	1,086	1,047	676
	30年	1,052	977	971	1,016	287
	令和 元年	852	1,548	1,682	1,213	683
売店売上	平成 26年	1,282	912	716	1,094	491
	27年	1,529	851	797	1,112	363
	28年	1,293	785	758	1,016	69
	29年	1,119	778	719	960	358
	30年	1,271	742	797	1,023	219
	令和 元年	1,198	716	1,025	973	29
その他売上	平成 26年	-	-	-	-	-
	27年	-	-	-	-	-
	28年	-	-	-	-	-
	29年	3,414	2,489	2,237	2,977	7,574
	30年	3,060	2,755	2,297	2,879	2,726
	令和 元年	2,965	3,482	2,498	3,166	8,396

(4)宿泊客 1 人当り売店売上

1 人当り売店売上＝売店売上÷宿泊人員

旅館の平均は 973 円となり、前年度から 50 円減少しました。

- ・大旅館 1,198 円 (▲73 円 ▲5.7%)
- ・中旅館 716 円 (▲26 円 ▲3.5%)
- ・小旅館 1,025 円 (+228 円 +28.6%)
- (ホテル) 29 円 (▲190 円 ▲86.8%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字 1,046 円
- ・赤字 878 円

(5)宿泊客 1 人当りその他売上

1 人当りその他売上＝その他売上÷宿泊人員

旅館の平均は 3,166 円となり、前年度から 287 円増加しました。

- ・大旅館 2,965 円 (▲95 円 ▲3.1%)
- ・中旅館 3,482 円 (+727 円 +26.4%)
- ・小旅館 2,498 円 (+201 円 +8.8%)
- (ホテル) 8,396 円 (+5,670 円 +208.0%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字 2,298 円
- ・赤字 3,165 円

5.定員稼働率・客室稼働率 <図4、表12、表13>

旅館ホテル業の稼働率は定員を基準とする「定員稼働率」と客室を基準とする「客室稼働率」があります。団体旅行の多い時代には定員稼働率が重視されましたが、個人化が進んだ現在は客室稼働率の方が重要です。洋室に比して和室は1室当りの定員が多くなっています。旅館では定員どおりに販売することほば出来ない状態となっています。

(1)定員稼働率

定員稼働率=宿泊人員÷(収容定員×営業日数)×100

定員稼働率は全規模で低下し、旅館全体では36.4%で1.7ポイント減少しました。

- ・大旅館 37.4% (▲1.3P ▲3.4%)
- ・中旅館 35.7% (▲0.8P ▲2.2%)
- ・小旅館 28.5% (▲8.8P ▲23.6%)
- (ホテル) 45.9% (▲2.0P ▲4.2%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字 33.6%
- ・赤字 39.0%

(2)客室稼働率

客室稼働率=利用客室数÷(客室数×営業日数)×100

客室稼働率は、全ての規模で前年度から減少しました。新型コロナウイルスの影響と思われます。旅館の平均は61.8%で、前年度比▲2.2Pでした。

- ・大旅館 64.2% (▲0.3P ▲0.5%)
- ・中旅館 61.2% (▲3.4P ▲5.3%)
- ・小旅館 50.3% (▲7.1P ▲12.4%)
- (ホテル) 57.0% (▲10.1P ▲15.1%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字 66.4%
- ・赤字 52.1%

(3)地域別稼働率

定員稼働率は九州・中部・関東が高く、東北・北陸信越が低くなっています。

客室稼働率は関東・北海道・九州で高く、中国・北陸信越・東北で低くなっています。規模別で見ると関東と中部の大旅館で高く、東北の小旅館で低く

なっています。

図4 定員稼働率の推移 (単位:%)

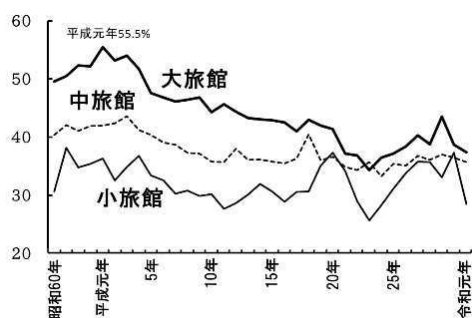


表12 稼働率・1室当り宿泊利用人員 (単位:%、人)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
定員稼働率	平成 26年	38.4	35.1	33.8	36.6
	27年	40.3	36.8	35.8	38.0
	28年	38.8	36.1	35.7	37.3
	29年	43.5	37.0	33.1	40.2
	30年	38.7	36.5	37.3	38.1
	令和 元年	37.4	35.7	28.5	36.4
客室稼働率	平成 26年	64.4	59.0	54.6	61.6
	27年	65.5	62.9	59.1	63.6
	28年	65.3	61.1	54.2	62.4
	29年	73.8	63.0	55.0	68.0
	30年	64.5	64.6	57.4	64.0
	令和 元年	64.2	61.2	50.3	61.8
1室当り宿泊利用人員	平成 26年	2.62	2.64	2.68	2.63
	27年	2.74	3.19	3.37	3.01
	28年	2.60	2.71	2.86	2.66
	29年	2.58	2.74	2.64	2.65
	30年	2.47	2.73	2.60	2.58
	令和 元年	2.71	2.50	2.27	2.49

表13 地域別稼働率 (単位:%)

地域	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館
定員稼働率	北海道	39.0	36.0	-
	東北	31.7	27.8	23.1
	関東	40.3	38.5	34.3
	北陸信越	-	32.9	30.5
	中部	43.3	39.5	10.1
	関西	28.5	37.2	34.0
	中国	32.4	37.2	27.1
	四国	43.5	32.3	29.5
	九州	44.2	42.0	36.0
客室稼働率	北海道	67.5	60.5	-
	東北	59.8	58.1	32.6
	関東	76.8	59.5	62.2
	北陸信越	-	56.0	48.3
	中部	73.9	58.3	51.4
	関西	64.3	62.4	53.1
	中国	48.6	54.7	48.4
	四国	58.3	65.7	53.8
	九州	-	65.4	57.8

6.売上効率 <図 5、表 14>

(1)1 室当り売上高

宿泊業にとって客室は重要な営業基盤です。客室 1 室当りの年間売上は重要指標となっています。旅館は 1,038 万円と前年度比 12.2%減少しました。全ての規模で減少しており、前述の単価や稼働率の減少が原因です。

- ・大旅館 1,002 万円 (▲142 万円 ▲12.4%)
- ・中旅館 1,081 万円 (▲163 万円 ▲13.1%)
- ・小旅館 1,027 万円 (▲119 万円 ▲10.4%)
- (ホテル) 239 万円 (▲87 万円 ▲26.7%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：1,134 万円 赤字：925 万円
- ・大旅館 黒字：1,083 万円 赤字：936 万円
- ・中旅館 黒字：1,161 万円 赤字：936 万円
- ・小旅館 黒字：1,264 万円 赤字：793 万円

1 室当りの売上高を増加させることが黒字化へのひとつの道筋となっています。

(2)建物面積 1 m²当り売上高

建築面積 1 m²当り売上＝総売上÷建築延べ面積

建築延べ面積当り売上は、装置産業である宿泊業にとって投資効率を分析するのに適した指標です。

旅館全体では 8.4 万円です。

- ・大旅館 8.0 万円 (+0.2 万円 +2.6%)
- ・中旅館 9.0 万円 (+1.2 万円 +15.4%)
- ・小旅館 8.5 万円 (▲0.8 万円 ▲8.6%)
- (ホテル) 3.6 万円 (▲0.6 万円 ▲14.3%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：9.9 万円 赤字：7.1 万円
- ・大旅館 黒字：9.6 万円 赤字：6.8 万円
- ・中旅館 黒字：9.9 万円 赤字：7.5 万円
- ・小旅館 黒字：10.6 万円 赤字：6.5 万円

(3)就業者一人当り売上高

就業者一人当り売上高＝総売上÷就業者数

労働集約産業である旅館業にとって大切な指標です。本調査では常勤役員、社員、常勤パートを就業者として算出しています。旅館の平均は 1,089 万円

でした。

- ・大旅館 1,345 万円 (+270 万円 +25.1%)
- ・中旅館 923 万円 (+143 万円 +18.3%)
- ・小旅館 950 万円 (+252 万円 +36.1%)
- (ホテル) 655 万円 (▲366 万円 ▲35.8%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字 1,230 万円
- ・赤字 1,023 万円

図 5 1 室当り売上の推移 (単位:万円)

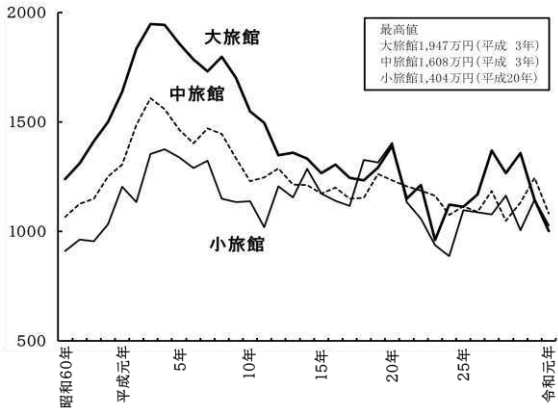


表 14 売上効率

(単位:万円)

	年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
1 室当り売上高	平成 26年	1,169	1,090	1,087	1,130	774
	27年	1,369	1,185	1,077	1,243	827
	28年	1,266	1,048	1,163	1,159	360
	29年	1,358	1,131	1,005	1,236	627
	30年	1,144	1,244	1,146	1,182	326
	令和 元年	1,002	1,081	1,027	1,038	239
建物 1 m ² 当り売上高	平成 26年	8.5	7.9	8.4	8.2	7.3
	27年	9.8	8.4	8.4	8.9	7.9
	28年	8.4	7.5	9.5	8.1	6.0
	29年	8.9	7.9	9.0	8.5	8.4
	30年	7.8	7.8	9.3	7.9	4.2
	令和 元年	8.0	9.0	8.5	8.4	3.6
就業者 1 人当り売上高	平成 26年	1,214	875	806	1,017	1,034
	27年	1,263	911	750	1,010	865
	28年	1,326	888	748	1,033	809
	29年	1,295	869	670	1,040	778
	30年	1,075	780	698	900	1,021
	令和 元年	1,345	923	950	1,089	655

7.原価率 <図 6、表 15>

(1)売上総原価率

$$\text{売上総原価率} = \text{原価} \div \text{総売上} \times 100$$

総原価率は旅館平均で 23.3% となり、前年度と変わっていませんでした。

- ・大旅館 23.4% (▲1.0P ▲4.1%)
- ・中旅館 23.6% (+1.3P +5.8%)
- ・小旅館 21.6% (▲0.5P ▲2.3%)
- (ホテル) 28.6% (+11.1P +63.4%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：23.4% 赤字：22.6%
- ・大旅館 黒字：23.5% 赤字：23.2%
- ・中旅館 黒字：23.6% 赤字：22.0%
- ・小旅館 黒字：21.6% 赤字：21.5%

(2)料理材料比率

$$\text{料理材料比率} = \text{料理材料費} \div \text{宿泊売上} \times 100$$

旅館平均で 21.8% となり、前年度比 2.5 ポイント増加しました。

- ・大旅館 20.0% (+0.3P +1.5%)
- ・中旅館 24.1% (+5.2P +27.5%)
- ・小旅館 21.3% (+2.6P +13.9%)
- (ホテル) 26.1% (+16.9P +183.7%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：21.1% 赤字：20.8%
- ・大旅館 黒字：19.4% 赤字：20.7%
- ・中旅館 黒字：23.2% 赤字：23.2%
- ・小旅館 黒字：19.4% 赤字：23.5%

(3)飲物仕入率

$$\text{飲物仕入率} = \text{飲物仕入} \div \text{飲物売上} \times 100$$

旅館平均で 33.8% となり、前年度比 0.3 ポイント増加しました。

- ・大旅館 31.9% (▲0.2P ▲0.6%)
- ・中旅館 35.5% (+0.3P +0.9%)
- ・小旅館 34.9% (+0.5P +1.5%)
- (ホテル) 37.0% (+3.2P +9.5%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：35.6% 赤字：30.1%
- ・大旅館 黒字：39.7% 赤字：26.8%

・中旅館 黒字：45.2% 赤字：32.6%

・小旅館 黒字：37.2% 赤字：31.5%

(4)売店仕入率

$$\text{売店仕入率} = \text{売店仕入} \div \text{売店売上} \times 100$$

旅館平均で 64.4% となり、前年度比 1.1 ポイント減少しました。

- ・大旅館 63.3% (▲1.2P ▲1.9%)
- ・中旅館 66.6% (▲0.4P ▲0.6%)
- ・小旅館 68.5% (▲0.1P ▲0.1%)
- (ホテル) 71.7% (+12.1P +20.3%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：65.7% 赤字：62.7%
- ・大旅館 黒字：65.7% 赤字：60.2%
- ・中旅館 黒字：66.6% 赤字：67.3%
- ・小旅館 黒字：62.7% 赤字：72.9%

図 6 売上総原価率の推移 (単位：%)

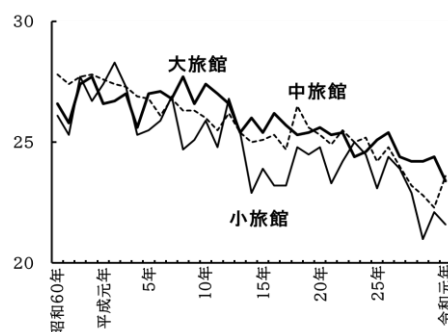


表 15 原価率 (単位：%)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
売上総原価率	平成 26 年	25.4	24.8	24.4	25.1
	27 年	24.4	24.0	23.9	24.2
	28 年	24.2	23.2	22.9	23.7
	29 年	24.2	22.8	21.0	23.5
	30 年	24.4	22.3	22.1	23.3
	令和 元年	23.4	23.6	21.6	23.3
料理材料比率	平成 26 年	19.8	21.0	20.7	20.4
	27 年	18.8	19.4	18.8	19.1
	28 年	19.4	20.2	19.9	19.8
	29 年	19.9	20.3	18.4	19.9
	30 年	19.7	18.9	18.7	19.3
	令和 元年	20.0	24.1	21.3	21.8
飲物仕入率	平成 26 年	31.5	33.0	34.4	32.4
	27 年	31.9	32.4	35.7	32.6
	28 年	33.2	33.2	31.2	32.9
	29 年	34.5	31.7	34.5	33.3
	30 年	32.1	35.2	34.4	33.5
	令和 元年	31.9	35.5	34.9	33.8
売店仕入率	平成 26 年	68.2	67.0	67.3	67.8
	27 年	66.4	68.4	67.7	67.3
	28 年	64.0	66.4	67.5	65.1
	29 年	67.7	67.5	65.1	67.5
	30 年	64.5	67.0	68.6	65.5
	令和 元年	63.3	66.6	68.5	64.4

8.経費率 <表 16>

当協会の統一会計基準のとおり、経費を人件費、営業費、業務費、管理費、減価償却費の5つに分類しています。

(1)人件費率

$$\text{人件費率} = \text{人件費} \div \text{総売上} \times 100$$

人件費は役員報酬、給料、退職金、法定福利費、厚生費、外注・委託費、求人費、教育研修費、賞与としています。

人件費率は旅館平均で 35.3%となり前年度より 1.3 ポイント増加しました。売上の減少により、ほぼ固定費である人件費率が増加することは当然と考えられます。

- ・大旅館 35.1% (+2.2P +6.7%)
- ・中旅館 35.2% (+0.6P +1.7%)
- ・小旅館 36.8% (▲0.6P ▲1.6%)
- (ホテル) 39.6% (+1.7P +4.5%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：33.5% 赤字：38.1%
- ・大旅館 黒字：32.6% 赤字：37.5%
- ・中旅館 黒字：34.2% 赤字：38.0%
- ・小旅館 黒字：34.1% 赤字：42.8%

(2)営業費率

$$\text{営業費率} = \text{営業費} \div \text{総売上} \times 100$$

営業費は販売促進費、営業所費、営業交通費、接待交際費、広告宣伝費、販売手数料の合計です。

営業費率は旅館平均で 11.6%となり前年度より 0.8 ポイント増加しました。

ネット販売時における自社ホームページ比率が減少し、OTA 比率が増加していることも一因と考えられます。

- ・大旅館 13.0% (+1.6P +14.0%)
- ・中旅館 10.4% (+0.2P +2.0%)
- ・小旅館 9.9% (▲0.2P ▲2.0%)
- (ホテル) 9.3% (+0.6P +6.9%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：10.7% 赤字：12.9%
- ・大旅館 黒字：11.2% 赤字：14.7%
- ・中旅館 黒字：10.6% 赤字：10.6%

- ・小旅館 黒字：8.9% 赤字：11.8%

(3)業務費率

$$\text{業務費率} = \text{業務費} \div \text{総売上} \times 100$$

業務費はサービス費、備品消耗品費、修繕費、保守管理費、衛生費、車両費、水道光熱費、通信運搬費の合計です。

業務費率は旅館平均で 14.4%となり前年度より 1.8 ポイント減少しました。

変動費の割合が多く、売上やお客様数が減少したことによると思われます。

- ・大旅館 14.1% (▲2.6P ▲15.6%)
- ・中旅館 15.0% (▲0.8P ▲5.1%)
- ・小旅館 13.1% (▲1.8P ▲12.1%)
- (ホテル) 13.0% (▲2.0P ▲13.3%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：13.9% 赤字：15.3%
- ・大旅館 黒字：14.2% 赤字：13.9%
- ・中旅館 黒字：13.9% 赤字：17.6%
- ・小旅館 黒字：12.8% 赤字：14.1%

(4)管理費率

$$\text{管理費率} = \text{管理費} \div \text{総売上} \times 100$$

管理費はリース料、会費・組合費、地代・家賃、顧問料・調査費、保険料、租税公課、事務消耗品費、雑費の合計であり多くは固定費です。

管理費率は旅館平均で 8.4%となり前年度より 0.5 ポイント増加しました。

- ・大旅館 7.8% (+1.4P +21.9%)
- ・中旅館 9.2% (▲0.2P ▲2.1%)
- ・小旅館 7.7% (▲2.4P ▲23.8%)
- (ホテル) 9.4% (▲2.3P ▲19.7%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：7.8% 赤字：9.1%
- ・大旅館 黒字：7.2% 赤字：8.4%
- ・中旅館 黒字：8.5% 赤字：9.8%
- ・小旅館 黒字：6.6% 赤字：10.0%

(5)減価償却費率

$$\text{減価償却費率} = \text{減価償却費} \div \text{総売上} \times 100$$

建物や設備等の資産を毎年減価償却する額です。
旅館平均で 5.7%となり前年度より 0.1 ポイント減少しました。

新規投資の減少かもしれません。

- ・大旅館 6.2% (±0P ±0%)
- ・中旅館 5.3% (▲0.3P ▲5.4%)
- ・小旅館 5.6% (+1.1P +24.4%)
- (ホテル) 7.1% (+1.1P +18.3%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：5.2% 赤字：6.6%
- ・大旅館 黒字：5.7% 赤字：6.7%
- ・中旅館 黒字：4.8% 赤字：6.5%
- ・小旅館 黒字：5.7% 赤字：5.7%

(6)支払利息率

$$\text{支払利息率} = \text{支払利息} \div \text{総売上} \times 100$$

総売上に占める支払利息の割合です。旅館平均で 2.0%となり前年度より 0.1 ポイント増加しました。
数年間低減傾向にありましたが、新型コロナウイルス対策の制度融資増加の影響と思われます。

- ・大旅館 2.3% (+0.4P +21.1%)
- ・中旅館 1.9% (▲0.1P ▲5.0%)
- ・小旅館 1.1% (▲0.1P ▲8.3%)
- (ホテル) 3.5% (+1.8P +105.9%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：2.0% 赤字：2.2%
- ・大旅館 黒字：2.1% 赤字：2.5%
- ・中旅館 黒字：2.0% 赤字：2.0%
- ・小旅館 黒字：1.0% 赤字：1.2%

表16 経費率

(単位：%)

	年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
人件費率	平成 26年	30.5	32.2	35.2	31.6	34.5
	27年	30.3	31.8	34.3	31.4	32.8
	28年	31.4	33.2	35.3	32.5	34.0
	29年	31.6	34.0	35.8	32.8	31.8
	30年	32.9	34.6	37.4	34.0	37.9
	令和 元年	35.1	35.2	36.8	35.3	39.6
営業費率	平成 26年	13.5	14.1	12.7	13.6	10.4
	27年	13.8	14.1	11.7	13.7	9.2
	28年	13.8	14.8	14.1	14.3	9.4
	29年	11.0	10.8	11.4	11.0	9.6
	30年	11.4	10.2	10.1	10.8	8.7
	令和 元年	13.0	10.4	9.9	11.6	9.3
業務費率	平成 26年	-	-	-	-	-
	27年	-	-	-	-	-
	28年	-	-	-	-	-
	29年	14.6	15.7	14.3	15.0	11.2
	30年	16.7	15.8	14.9	16.2	15.0
	令和 元年	14.1	15.0	13.1	14.4	13.0
管理費率	平成 26年	20.2	20.3	20.1	20.2	19.4
	27年	19.9	21.1	21.4	20.6	21.4
	28年	19.5	20.1	18.9	19.6	22.4
	29年	8.7	10.0	10.3	9.3	12.7
	30年	6.4	9.4	10.1	7.9	11.7
	令和 元年	7.8	9.2	7.7	8.4	9.4
減価償却費率	平成 26年	7.0	6.7	6.9	6.9	9.6
	27年	5.5	5.3	6.0	5.5	5.4
	28年	5.8	6.2	5.5	5.9	6.6
	29年	6.1	5.4	5.8	5.8	5.4
	30年	6.2	5.6	4.5	5.8	6.0
	令和 元年	6.2	5.3	5.6	5.7	7.1
支払利息率	平成 26年	2.6	2.5	1.7	2.5	1.3
	27年	2.1	2.1	1.9	2.1	2.0
	28年	2.2	2.2	1.5	2.1	2.7
	29年	2.3	1.7	1.3	2.0	3.5
	30年	1.9	2.0	1.2	1.9	1.7
	令和 元年	2.3	1.9	1.1	2.0	3.5

9.利益率 <図7、表17、表18>

総売上から原価を引いた売上総利益（粗利益）、そこから経費を引いた営業利益、さらに営業外損益を増減した後の経常利益等の他、宿泊業の指標として重要視されているGOP（償却前営業利益）も集計しました。

(1)売上総利益率

$$\text{売上総利益率} = \text{売上総利益} \div \text{総売上} \times 100$$

旅館平均で76.7%となり、前年度と同じでした。

- ・大旅館 76.6% (+1.0P +1.3%)
- ・中旅館 76.4% (▲1.3P ▲1.7%)
- ・小旅館 78.4% (+0.5P +0.6%)
- (ホテル) 71.4% (▲11.1P ▲13.5%)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：76.6% 赤字：77.4%
- ・大旅館 黒字：76.5% 赤字：76.8%
- ・中旅館 黒字：76.4% 赤字：78.0%
- ・小旅館 黒字：78.4% 赤字：78.5%

(2)GOP率

$$\text{GOP率} =$$

$$(\text{営業利益} + \text{減価償却費}) \div \text{総売上} \times 100$$

GOPはGross Operating Profitの略で、運営総利益を表します。旅館平均で7.0%となり、前年度より0.8ポイント低下しました。

- ・大旅館 6.7% (▲1.6P ▲19.3%)
- ・中旅館 6.7% (▲1.0P ▲13.0%)
- ・小旅館 10.9% (+5.4P +98.2%)
- (ホテル) 0.2%

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：10.7% 赤字：2.0%
- ・大旅館 黒字：11.2% 赤字：2.2%
- ・中旅館 黒字：9.2% 赤字：2.0%
- ・小旅館 黒字：16.0% 赤字：▲0.2%

(3)営業利益率

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} \div \text{総売上} \times 100$$

旅館平均で1.3%となり、前年度より0.7ポイント低下しました。

- ・大旅館 0.5% (▲1.6P ▲76.2%)
- ・中旅館 1.4% (▲0.7P ▲33.3%)
- ・小旅館 5.2% (+4.1P +372.7%)
- (ホテル) ▲6.9%

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：5.5% 赤字：▲4.6%
- ・大旅館 黒字：5.6% 赤字：▲4.5%
- ・中旅館 黒字：4.4% 赤字：▲4.6%
- ・小旅館 黒字：10.4% 赤字：▲5.9%

図7 営業利益率の推移 (%)

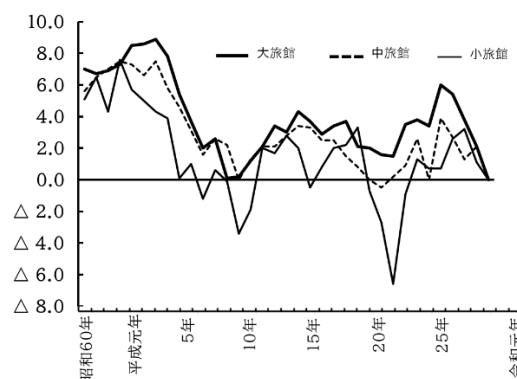


表17 利益率

(単位：%)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
売上総利益率	平成 26年	74.6	75.3	75.7	73.9
	27年	75.6	76.1	76.0	74.4
	28年	75.8	76.9	77.1	78.3
	29年	75.8	77.2	79.0	76.5
	30年	75.6	77.7	77.9	82.5
	令和 元年	76.6	76.4	78.4	71.4
GOP率	平成 26年	10.4	8.7	7.7	9.5
	27年	11.6	9.2	8.6	10.2
	28年	11.1	8.8	8.7	10.0
	29年	9.9	6.8	7.2	8.5
	30年	8.3	7.7	5.5	7.8
	令和 元年	6.7	6.7	10.9	0.2
営業利益率	平成 26年	3.4	2.0	0.7	2.7
	27年	6.0	3.9	2.6	4.7
	28年	5.4	2.7	3.2	4.1
	29年	3.8	1.3	1.5	2.7
	30年	2.1	2.1	1.1	2.0
	令和 元年	0.5	1.4	5.2	▲6.9

(4)経常利益率

経常利益率＝経常利益÷総売上×100

旅館全体の平均は 1.9%で、前年度から 0.4 ポイント低下しました。

- ・大旅館 0.4% (▲1.9P ▲82.6%)
- ・中旅館 1.9% (▲0.2P ▲9.5%)
- ・小旅館 8.7% (+5.9P +210.7%)
- (ホテル) ▲7.5% (▲11.5P ---)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：6.1% 赤字：▲4.1%
- ・大旅館 黒字：5.8% 赤字：▲4.4%
- ・中旅館 黒字：5.3% 赤字：▲4.4%
- ・小旅館 黒字：11.8% 赤字：1.4%

(5)償却前経常利益率

償却前経常利益率＝

(経常利益+減価償却額)÷総売上×100

旅館全体の平均は 7.6%で、前年度から 0.5 ポイント低下しました。

- ・大旅館 6.6% (▲1.9P ▲22.4%)
- ・中旅館 7.2% (▲0.6P ▲7.7%)
- ・小旅館 14.3% (+7.0P +95.9%)
- (ホテル) ▲0.4% (▲10.4P ---)

黒字・赤字別では、

- ・全体 黒字：11.4% 赤字：2.5%
- ・大旅館 黒字：11.5% 赤字：2.3%
- ・中旅館 黒字：10.1% 赤字：2.1%
- ・小旅館 黒字：17.5% 赤字：7.1%

表18 利益率 (単位：%)

年度		(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
経常利益率	平成 26年	2.6	1.5	1.2	2.1	4.8
	27年	5.6	3.4	3.5	4.3	6.1
	28年	4.7	2.2	3.5	3.6	3.7
	29年	3.8	1.8	1.8	2.9	6.6
	30年	2.3	2.1	2.8	2.3	4.0
	令和 元年	0.4	1.9	8.7	1.9	▲7.5
償却前利益率	平成 26年	9.6	8.2	8.1	8.9	10.7
	27年	11.1	8.6	9.5	9.8	11.5
	28年	10.5	8.3	9.0	9.5	10.3
	29年	9.9	7.2	7.6	8.3	12.0
	30年	8.5	7.8	7.3	8.1	10.0
	令和 元年	6.6	7.2	14.3	7.6	▲0.4

10.就業者数 <表 19、表 20>

旅館ホテル業には様々な雇用形態が存在しますが、本調査では常勤役員、正社員、常勤パートタイマーの合計を就業者としています。

(1)就業者数＝常勤役員+正社員+常勤パートタイマー

1 軒当り就業者数は規模にほぼ比例している。

旅館全体の平均は 74 人で前年度比▲17 人となりました。

- ・大旅館 142 人 (▲36 人 ▲20.2%)
- ・中旅館 78 人 (▲12 人 ▲13.3%)
- ・小旅館 23 人 (▲8 人 ▲25.8%)
- (ホテル) 32 人 (+11 人 +52.4%)

(2)正社員の平均年齢

旅館全体において、男性の平均年齢は 46.0 歳、女性の平均年齢は 43.5 歳でした。男性は前年度比横ばい、女性は 1.3 歳高くなりました。

規模別では

男性

- ・大旅館 43.8 歳 (+1.6 歳 +3.8%)
- ・中旅館 45.6 歳 (▲1.4 歳 ▲3.0%)
- ・小旅館 48.5 歳 (+1.6 歳 +3.4%)
- (ホテル) 51.7 歳

女性

- ・大旅館 40.2 歳 (+3.3 歳 +8.9%)
- ・中旅館 41.1 歳 (▲1.6 歳 ▲3.7%)
- ・小旅館 49.3 歳 (+4.6 歳 +10.3%)
- (ホテル) 53 歳

表19 就業者数 (単位：人)

年度		(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
就業者数	平成 26年	152	69	25	72	77
	27年	168	78	28	74	86
	28年	143	67	31	68	30
	29年	174	72	28	80	55
	30年	178	90	31	91	21
	令和 元年	142	78	23	74	32

表20 正社員の平均年齢 (単位：歳)

	年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
男性	平成 26年	42.0	45.8	45.1	44.8	42.5
	27年	42.5	45.8	46.1	45.4	43.3
	28年	42.8	46.6	46.5	45.9	48.6
	29年	43.8	45.4	47.8	45.9	44.2
	30年	42.2	47.0	46.9	46.0	48.0
	令和 元年	43.8	45.6	48.5	46.0	51.7
女性	平成 26年	36.2	41.9	46.9	42.3	42.1
	27年	36.7	42.5	47.3	43.2	39.4
	28年	36.6	43.8	45.4	43.1	44.2
	29年	38.5	42.4	48.0	43.5	39.8
	30年	36.9	42.7	44.7	42.2	42.3
	令和 元年	40.2	41.1	49.3	43.5	53.0

11.就業者効率 <図 8、表 21、表 22>

(1)1 室当り就業者数

$$1 \text{ 室当り就業者数} = \text{就業者数} \div \text{客室数}$$

1 室当りの就業者数は旅館全体で 1.05 人であり前年度から 19.8%減少しました。

規模別では

- ・大旅館 0.82 人 (▲0.24 人 ▲22.6%)
- ・中旅館 1.28 人 (▲0.30 人 ▲19.0%)
- ・小旅館 1.25 人 (▲0.39 人 ▲23.8%)
- (ホテル) 0.67 人 (+0.35 人 +109.4%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：1.01 人 赤字：1.00 人

(2)就業者数 1 人当り年間宿泊人員

$$\text{就業者数 1 人当り年間宿泊人員} =$$

$$\text{年間宿泊利用人員} \div \text{就業者数}$$

就業者 1 人当りの宿泊人員は旅館全体で 540 人であり前年度から 23.3%増加しました。

規模別では

- ・大旅館 688 人 (+159 人 +30.1%)
- ・中旅館 461 人 (+83 人 +22.0%)
- ・小旅館 365 人 (+43 人 +13.4%)
- (ホテル) 465 人 (▲457 人 ▲50.0%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：588 人 赤字：538 人

(3)就業者数 1 人当り人件費

$$\text{就業者数 1 人当り人件費} =$$

$$\text{人件費(外注費等も含む)} \div \text{就業者数}$$

人件費は協会の統一会計基準における科目を全て含みます。旅館全体で 383 万円であり前年度から 25.2%増加しました。

規模別では

- ・大旅館 472 万円 (+118 万円 +33.3%)
- ・中旅館 322 万円 (+52 万円 +19.3%)
- ・小旅館 351 万円 (+90 万円 +34.5%)

(ホテル) 259 万円 (▲128 万円 ▲33.1%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：413 万円 赤字：387 万円

表 21 就業者効率

	年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
1室 当り 就業 者数 (人)	平成 26年	0.96	1.25	1.40	1.12	0.75
	27年	1.08	1.32	1.49	1.25	0.96
	28年	0.96	1.20	1.58	1.13	0.45
	29年	1.05	1.30	1.48	1.19	0.81
	30年	1.06	1.58	1.64	1.31	0.32
	令和 元年	0.82	1.28	1.25	1.05	0.67
就業 者1人 当り 宿泊 人員 (人)	平成 26年	624	442	369	514	475
	27年	562	454	360	478	355
	28年	643	491	357	528	696
	29年	643	465	336	532	482
	30年	529	378	322	438	922
	令和 元年	688	461	365	540	465
就業 者1人 当り の 人件 費 (万円)	平成 26年	370	278	287	320	357
	27年	383	292	257	319	289
	28年	416	291	266	336	276
	29年	409	295	242	341	247
	30年	354	270	261	306	387
	令和 元年	472	322	351	383	259

(4)労働生産性

$$\text{労働生産性} = \text{売上総利益} \div \text{就業者数}$$

労働生産性を上記の計算式で算出しました。旅館全体の平均は 738 万円で、全体の平均は前年度から 48 万円増加しました。率にして 7.0%増です。

労働集約型産業である旅館にとって労働生産性の向上は発展のうえで不可欠です。優秀な人材を確保し、労働生産性の更なる向上が必要です。

- ・大旅館 896 万円 (+83 万円 +10.2%)

- ・中旅館 643 万円 (+36 万円 +5.9%)

- ・小旅館 616 万円 (+72 万円 +13.2%)

(ホテル) 454 万円 (▲389 万円 ▲46.1%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：858 万円 赤字：673 万円

労働生産性の違いが黒字・赤字を分けた要因のひとつと考えられます。

表22 労働生産性、労働分配率

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
労働生産性(万円)					
平成 26年	906	658	609	762	765
27年	954	699	568	770	654
28年	1005	675	580	789	635
29年	982	670	526	796	603
30年	813	607	544	690	843
令和 元年	896	643	616	738	454
労働分配率(%)					
平成 26年	40.9	42.8	46.6	42.1	46.7
27年	40.1	41.7	45.1	41.4	44.1
28年	41.4	43.1	45.8	42.6	43.4
29年	41.7	44.0	45.4	42.8	41.0
30年	43.5	44.5	48.0	44.3	45.9
令和 元年	44.8	49.7	47.1	46.2	55.3

(5)労働分配率

労働分配率=人件費÷売上総利益×100

売上総利益に占める人件費の割合が労働分配率です。旅館全体では 46.2%で、前年度から 1.9P 増加しました。

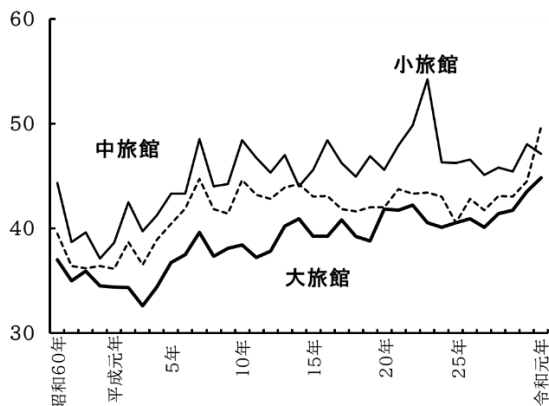
労働分配率は高ければ利益を圧迫しますが、低くければ良いとは限りません。付加価値が高まり低くなるのは良いのですが、給料を安くする等した結果で低くなるのは問題です。

- ・大旅館 44.8% (+1.3P +3.0%)
- ・中旅館 49.7% (+5.2P +11.7%)
- ・小旅館 47.1% (▲0.9P ▲1.9%)
- (ホテル) 55.3% (+9.4P +20.5%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：43.4% 赤字：50.9%

図8 労働分配率の推移(%)



12.建築面積効率 <表 23>

(1)1室当り建築延べ面積=建築延べ面積÷客室数

旅館全体では 122 m²となり、前年度と比べ 24 m² 減少しました。規模において大きな違いはありません。

- ・大旅館 126 m² (▲5 m² ▲3.8%)
- ・中旅館 120 m² (▲45 m² ▲27.3%)
- ・小旅館 120 m² (▲8 m² ▲6.3%)
- (ホテル) 70 m² (▲13 m² ▲15.7%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：116 m² 赤字：128 m²

(2)定員1人当り延べ面積

定員1人当り延べ面積=建築延べ面積÷収容人員

旅館全体の平均は 29.6 m²で前年度比 11.4%減少しました。

- ・大旅館 33.0 m² (+1.2 m² +3.8%)
- ・中旅館 28.2 m² (▲7.1 m² ▲20.1%)
- ・小旅館 27.5 m² (▲3.3 m² ▲10.7%)
- (ホテル) 32.4 m² (▲12.3 m² ▲27.5%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：27.8 m² 赤字：31.2 m²

表23 建築面積効率 (単位:m²)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
1室当り延べ面積					
平成 26年	144	147	135	145	59
27年	143	147	122	143	77
28年	153	142	123	145	49
29年	154	145	116	147	72
30年	131	165	128	146	83
令和 元年	126	120	120	122	70
定員1人当り延べ面積					
平成 26年	33.3	33.2	33.0	33.2	29.3
27年	33.2	32.1	27.8	32.0	51.4
28年	33.8	31.7	29.3	32.4	32.4
29年	34.5	31.6	27.6	32.7	39.1
30年	31.8	35.3	30.8	33.4	44.7
令和 元年	33.0	28.2	27.5	29.6	32.4

13. 資本効率・借入金償還年数 <表 24>

(1) 総資本利益率

$$\text{総資本利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資本} \times 100$$

総資本利益率は総資本に対する経常利益の割合を示します。

旅館全体の平均は 1.0% で前年度より 0.3P 悪化しました。

- ・大旅館 0.2% (▲1.1P ▲84.6%)
- ・中旅館 1.2% (±0P ±0%)
- ・小旅館 5.3% (+2.8P +112.0%)
- (ホテル) ▲4.6% (▲6.6P)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：3.68% 赤字：▲2.10%

(2) 総資本回転率

$$\text{総資本回転率} = \text{総売上高} \div \text{総資本} \times 100$$

総資本回転率は総資本に対する売上高です。この数値が高いほど資本がよく回っていると言えます。

旅館全体の平均は 0.62 回転であり前年度から 0.02P 改善しました。

- ・大旅館 0.55 回 (▲0.02 回 ▲3.5%)
- ・中旅館 0.71 回 (+0.11 回 +18.3%)
- ・小旅館 0.64 回 (▲0.16 回 ▲20.0%)
- (ホテル) 0.40 回 (▲0.1 回 ▲20.0%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：0.65 回 赤字：0.57 回

(3) 借入金償還年数

$$\text{借入金償還年数} = (\text{長期借入金} + \text{短期借入金}) \div (\text{減価償却費} + \text{経常利益})$$

借入金償還年数は借入金を理論上何年で償還出来るかを見る指標です。よって年数が少ないほど良くなります。本調査では便宜上、減価償却費と経常利益を借入金返済の原資と計算しました。

旅館全体の平均は 19.1 年であり前年度から 5.2 年悪化しました。小旅館が最も良くなっています。

装置産業である旅館ホテルにとって借入金が多額になることはやむを得ませんが、安定的な利益を確保し、10 年以内で償還出来るようにしたいものです。

- ・大旅館 23.6 年 (+10.7 年 +82.9%)
- ・中旅館 18.1 年 (+1.9 年 +11.7%)
- ・小旅館 8.8 年 (▲1.4 年 ▲13.7%)

(ホテル) 償却前経常利益が赤字ですので計算上は返済出来ません。

黒字・赤字別では、

- ・黒字：10.8 年 赤字：65.6 年

表 24 資本効率・借入金償還年数

年度		(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
総資本利益率 (%)	平成 26 年	1.2	1.2	1.4	1.2	2.5
	27 年	3.6	2.0	2.1	2.7	2.2
	28 年	2.3	1.6	2.6	2.1	1.4
	29 年	2.0	1.2	1.5	1.8	3.9
	30 年	1.3	1.2	2.5	1.3	2.0
	令和 元年	0.2	1.2	5.3	1.0	▲4.6
総資本回転率 (回)	平成 26 年	0.63	0.69	0.71	0.66	0.40
	27 年	0.58	0.59	0.62	0.59	0.35
	28 年	0.59	0.68	0.73	0.64	0.43
	29 年	0.54	0.74	0.70	0.61	0.53
	30 年	0.57	0.60	0.80	0.60	0.50
	令和 元年	0.55	0.71	0.64	0.62	0.40
借入金償還年数 (年)	平成 26 年	14.5	13.9	11.7	14.1	6.0
	27 年	9.4	12.0	11.2	10.6	7.2
	28 年	13.7	13.4	10.0	13.1	21.2
	29 年	11.9	13.8	10.6	12.3	13.3
	30 年	12.9	16.2	10.2	13.9	12.5
	令和 元年	23.6	18.1	8.8	19.1	---

Ⅱ.全体調査

以下の項目は、回答された全ての調査票を対象に集計しています。

1.集客方法<図 9、表 25>

(1)予約方法

お客様が予約される際の方法を旅行業、OTA（オンライントラベル）、自社サイトの3つに絞って調査しました。

(2)旅行業経由

旅行業経由＝

$$\text{旅行業経由の宿泊人員} \div \text{年間延べ宿泊人員} \times 100$$

旅行業経由の予約は毎年減少しており、今回の調査において旅館全体の平均は 40.9%であり、前年度から 0.7 ポイント減少しました。

- ・大旅館 43.5% (▲2.6P ▲5.6%)
- ・中旅館 40.0% (+1.3P +3.4%)
- ・小旅館 21.5% (▲6.8P ▲24.0%)
- (ホテル) 12.0% (▲10.2P ▲45.9%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：41.4% 赤字：40.8%

(3)OTA(オンライントラベル)経由

OTA 経由＝

$$\text{OTA 経由の宿泊人員} \div \text{年間延べ宿泊人員} \times 100$$

旅館全体の平均は 30.9%であり、前年度から 4.0 ポイント増加しました。ほぼ毎年増え続けています。

- ・大旅館 30.5% (+4.8P +18.7%)
- ・中旅館 29.6% (+2.7P +10.0%)
- ・小旅館 46.9% (+12.7P +37.1%)
- (ホテル) 37.3% (▲1.1P ▲2.9%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：31.8% 赤字：29.7%

(4)自社サイト経由

自社サイト経由＝

$$\text{自社サイト経由の宿泊人員} \div \text{年間延べ宿泊人員} \times 100$$

旅館全体の平均は 11.6%であり、前年度から 0.7 ポイント減少しました。

- ・大旅館 10.7% (▲0.4P ▲3.6%)
- ・中旅館 11.4% (▲1.2P ▲9.5%)
- ・小旅館 23.1% (+4.6P +24.9%)
- (ホテル) 22.5% (+12.6P +127.3%)

黒字・赤字別では、

- ・黒字：10.9% 赤字：12.7%

図9 宿泊人員構成（単位：%）

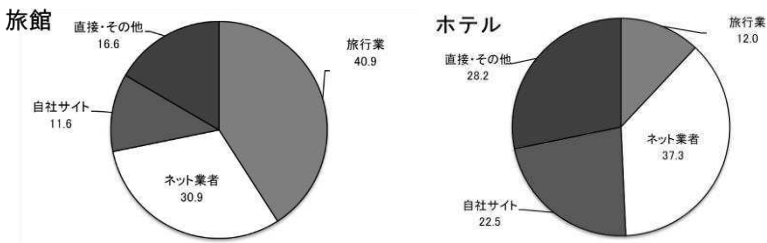


表25 集客の方法

(単位：%)

年度		(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
旅行業 経由	平成 26年	48.3	43.4	27.1	44.6	22.2
	27年	50.0	44.0	21.4	44.2	21.1
	28年	52.1	41.1	30.9	44.9	10.0
	29年	42.7	37.8	31.8	40.3	18.4
	30年	46.1	38.7	28.3	41.6	22.2
	令和 元年	43.5	40.0	21.5	40.9	12.0
OTA 経由	平成 26年	17.3	21.9	34.1	20.6	35.6
	27年	19.7	26.5	35.5	24.6	43.9
	28年	20.1	27.3	28.6	24.1	44.9
	29年	24.3	25.7	27.8	25.0	41.1
	30年	25.7	26.9	34.2	26.9	38.4
	令和 元年	30.5	29.6	46.9	30.9	37.3
自社 サイト 経由	平成 26年	9.3	13.2	21.9	11.9	9.8
	27年	8.7	12.0	18.6	11.3	10.6
	28年	7.9	10.9	15.6	10.1	15.7
	29年	10.3	10.5	15.0	10.7	10.4
	30年	11.1	12.6	18.5	12.3	9.9
	令和 元年	10.7	11.4	23.1	11.6	22.5

2.ホームページ<表 26、表 27、表 28>

(1)ホームページの対応言語

旅館における外国語ホームページ対応割合は

- ・英語 : 61.9% (▲4.2P)
 - ・繁体字 : 38.6% (±0P)
 - ・簡体字 : 31.7% (+2.6P)
 - ・韓国語 : 26.5% (+1.1P)
 - ・タイ語 : 4.8% (+1.6P)
 - ・フランス語 : 2.6% (+2.1P)
 - ・ドイツ語 : 1.6% (+0.5P)
 - ・スペイン語 : 1.6% (+0.5P)
 - ・日本語のみ : 36.5% (+5.3 P)
- (ホテル) 日本語のみの比率は 64.3%

(2)自社専用ホームページの開設状況

旅館全体では 96.3%となり、昨年度比 1.6P 増加しました。

(ホテル) 100%

(3)即時予約機能

ホームページからの即時予約は旅館全体の平均で 90.7%となり前年度から 0.8P 増加しました。

- ・大旅館 94.9% (+2.8P +3.0%)
 - ・中旅館 94.8% (+0.5P +0.5%)
 - ・小旅館 81.4% (▲1.1P ▲1.3%)
- (ホテル) 92.9% (±0P ±0%)

(4)即時予約対応言語

- ・英語 旅館 : 48.9% ホテル : 30.8%
- ・繁体字 旅館 : 27.8% ホテル : 23.1%
- ・簡体字 旅館 : 23.3% ホテル : 23.1%
- ・韓国語 旅館 : 21.0% ホテル : 23.1%
- ・タイ語 旅館 : 4.0% ホテル : 7.7%
- ・フランス語 旅館 : 2.8% ホテル : 7.7%
- ・ドイツ語 旅館 : 1.7% ホテル : 7.7%
- ・スペイン語 旅館 : 1.7% ホテル : 7.7%
- ・日本語のみ 旅館 : 52.8% ホテル : 61.5%

表 26 自社ホームページの対応言語 (単位 : %)

年度	英語	中国語		韓国語	タイ語	フランス語	ドイツ語	スペイン語	その他	日本語のみ
		繁体字	簡体字							
旅館	平成 26 年	40.7	20.3	14.9	13.6	0.7	0.3	0.7	-	0.3
	27 年	49.0	23.7	15.6	15.6	1.3	0.6	0.6	-	0.3
	28 年	54.1	33.1	23.0	22.3	3.9	2.3	1.3	-	1.6
	29 年	62.7	38.7	33.3	31.1	6.7	3.1	2.7	2.2	1.3
	30 年	66.1	38.6	29.1	25.4	3.2	0.5	1.1	1.1	31.2
	令和 元年	61.9	38.6	31.7	26.5	4.8	2.6	1.6	1.6	2.1
ホテル	平成 26 年	28.6	14.3	10.7	10.7	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	27 年	36.4	6.1	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	28 年	42.9	25.0	17.9	21.4	3.6	0.0	0.0	-	0.0
	29 年	70.0	36.7	23.3	30.0	10.0	6.7	6.7	3.3	3.3
	30 年	42.9	28.6	28.6	35.7	7.1	0.0	0.0	0.0	57.1
	令和 元年	35.7	21.4	21.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3

表 27 自社ホームページについて (単位 : %)

年度		(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
自社専用 H P がある	平成 26 年	100.0	97.2	89.8	94.5	93.9
	27 年	100.0	93.9	89.5	93.1	89.3
	28 年	96.6	93.9	82.9	92.8	-
	29 年	100.0	100.0	98.7	99.6	96.8
	30 年	97.4	94.3	93.7	94.7	85.7
	令和 元年	97.4	97.9	93.0	96.3	100.0
H P から即時予約 する事ができる	平成 26 年	100.0	92.3	76.6	86.7	90.9
	27 年	98.0	90.9	81.5	88.2	82.1
	28 年	98.0	90.9	81.5	88.2	82.1
	29 年	97.7	91.9	89.5	92.2	87.5
	30 年	92.1	94.3	82.5	89.9	92.9
	令和 元年	94.9	94.8	81.4	90.7	92.9

表 28 即時予約可能な H P がある場合の対応言語 (単位 : %)

令和元年	英語	中国語		韓国語	タイ語	フランス語	ドイツ語	スペイン語	その他	日本語のみ
		繁体字	簡体字							
旅館	48.9	27.8	23.3	21.0	4.0	2.8	1.7	1.7	1.7	52.8
ホテル	30.8	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	61.5

3.外国人宿泊客

<表 29、表 30、表 31、表 32、表 33>

(1)外国人宿泊人員比率

外国人宿泊人員比率＝

$$\text{外国人宿泊人員} \div \text{年間延べ宿泊人員} \times 100$$

旅館全体における外国人宿泊人員比率は 9.7%となり、前年度から 0.2P 減少しました。

令和 2 年 2 月まではそれほど減少しておらず、年間を通じては微減となりました。

- ・大旅館 10.7% (+0.4P +3.9%)
- ・中旅館 8.5% (▲0.6P ▲6.6%)
- ・小旅館 9.9% (▲2.0P ▲16.8%)
- (ホテル) 3.6% (▲6.9P ▲65.7%)

(2)地域別外国人宿泊人員比率

地域別で北海道、関西が高く、低い地域は東北、中国です。

(3)国籍別外国人宿泊人員

$$\text{国籍別外国人} = \text{国別の人員} \div \text{外国人宿泊人員} \times 100$$

旅館全体において国籍別で一番多いのは中国の 26.4%、次いで台湾の 25.7%、韓国の 12.9%、香港の 12.7%となっています。

前年度比では中国が大きく増加し、台湾も増えていますが、韓国の減少は日韓関係の悪化と推測します。

(ホテル) 中国が 36.7%と非常に多くなっています。

(4)外国人受け入れの意向

- ・積極的に受け入れたい：51.9% (▲1.5P)
- ・高単価の外国人のみ受け入れたい：20.0% (▲3.3P)
- ・日本人観光客を優先する：25.9% (+6.3P)
- ・外国人客は受け入れたくない：1.5% (+0.4P)

新型コロナウイルスの影響によると思われます。

表 29 外国人宿泊人員比率 (単位：%)

年度	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
平成 26年	7.5	6.0	8.1	7.0	8.1
27年	7.6	6.5	10.0	7.3	8.2
28年	11.1	7.2	11.1	9.5	5.5
29年	11.2	8.1	14.0	10.2	15.9
30年	10.3	9.1	11.9	9.9	10.5
令和 元年	10.7	8.5	9.9	9.7	3.6

表 30 地域別外国人宿泊人員比率 (単位：%)

地域	30年	令和元年	前年比
北 海 道	19.7	18.7	94.9
東 北	3.1	3.3	106.5
関 東	10.3	7.2	69.9
北 陸 信 越	5.0	10.6	212.0
中 部	4.0	7.2	180.0
関 西	12.7	13.0	102.4
中 国	7.0	4.3	61.4
四 国	10.4	10.5	101.0
九 州	12.9	9.4	72.9

表 31 国籍別外国人宿泊人員 (単位：%)

年度		中国	韓国	台湾	香港	タイ	米国	英国	その他不明
旅館	平成 26年	15.6	8.2	36.6	12.4	4.1	2.4	-	20.0
	27年	19.4	11.5	28.1	12.7	3.0	3.1	-	21.4
	28年	23.3	15.5	26.3	12.6	4.0	3	-	14.6
	29年	22.0	15.2	25.0	16.6	3.0	2.6	-	14.5
	30年	19.3	16.1	23.8	16.1	2.7	3.6	0.6	17.7
	令和 元年	26.4	12.9	25.7	12.7	3.2	3.4	0.9	14.9
ホテル	平成 26年	15.5	8.7	15.2	5.2	4.1	4.8	-	44.8
	27年	45.5	7.9	13.4	8.9	1.7	7.4	-	14.4
	28年	16.6	10.4	9.8	6.9	6.8	9.3	-	38.7
	29年	31.5	11.1	10.5	11.9	4.3	2.8	-	26.1
	30年	40.5	10.6	6.2	4.9	1.8	3.9	0.6	31.5
	令和 元年	36.7	14.1	7.9	6.8	2.8	5.2	1.3	29.3

4.インターネット対応 <表 34、表 35>

(1)サイトコントローラーの導入状況

旅館全体の平均は 85.1%でした。

大旅館：89.7% 中旅館：87.5% 小旅館：78.0%

地域別では四国、北海道、九州で導入率が高くなっています。

(2)公衆無線LANの設置状況

公衆無線 LAN を設置しているのは旅館全体で 95.9%です。

大旅館：97.4% 中旅館：97.9% 小旅館：91.5%

(3)公衆無線LANの設置場所

旅館全体で全館に設置しているのは 73.1%となりました。

全館設置は大旅館で 55.3%、中旅館で 76.6%、小旅館で 79.6%となり、大旅館において全館設置が進んでおらず課題です。

- ・黒字旅館：84.2% 赤字旅館：61.4%
(ホテル) 全館設置は 84.6%

表 3 3 規模別外国人受け入れ意向 (単位：%)

令和元年	(大旅館)	(中旅館)	(小旅館)	旅館	ホテル
積極的に受け入れたい	43.6	55.2	39.0	51.9	35.7
高単価の外客のみ受け入れたい	30.8	15.6	23.7	20.0	0.0
日本人観光客を優先する	23.1	27.1	40.7	25.9	50.0
外客は受け入れたくない	0.0	2.1	0.0	1.5	21.4

表 3 4 インターネット対応 (単位：%)

	サイトコントローラーを導入している	公衆無線LANを設置している
旅館	85.1	95.9
大旅館	89.7	97.4
中旅館	87.5	97.9
小旅館	78.0	91.5
北海道	93.8	87.5
東北	85.7	100.0
関東	80.6	93.5
北陸信越	75.0	100.0
中部	83.3	95.8
関西	81.3	93.8
中国	86.7	100.0
四国	100.0	93.3
九州	93.8	100.0
黒字旅館	85.7	96.9
赤字旅館	84.8	95.7
ホテル	71.4	92.9

表 3 2 外国人の受け入れ意向 (単位：%)

年度		積極的に 受け入れたい	高単価の外客のみ 受け入れたい	日本人観光客 を優先する	外客は受け 入れたくない
旅館	平成 26年	44.1	24.1	28.1	2.7
	27年	45.1	26.6	21.4	2.8
	28年	46.9	23.0	24.6	1.3
	29年	49.4	22.9	22.9	1.7
	30年	53.4	23.3	19.6	1.1
	令和 元年	51.9	20.0	25.9	1.5
ホテル	平成 26年	50.0	17.9	28.6	3.6
	27年	51.5	9.1	33.3	0.0
	28年	42.9	7.1	46.4	3.6
	29年	61.3	16.1	19.4	3.2
	30年	64.3	0.0	35.7	0.0
	令和 元年	35.7	0.0	50.0	21.4

表 3 5 公衆無線 LAN の設置場所 (単位：%)

	全館	ロビー	客室	会議室	宴会場	その他
旅館	73.1	26.9	14.0	7.5	6.5	2.2
大旅館	55.3	42.1	26.3	15.8	7.9	7.9
中旅館	76.6	22.3	11.7	7.4	7.4	1.1
小旅館	79.6	24.1	9.3	1.9	3.7	0.0
北海道	71.4	35.7	21.4	14.3	7.1	4.8
東北	76.2	19.0	14.3	9.5	4.8	0.0
関東	75.9	20.7	13.8	3.4	6.9	4.2
北陸信越	70.8	29.2	12.5	4.2	12.5	4.3
中部	60.9	39.1	17.4	17.4	8.7	3.3
関西	76.7	23.3	6.7	6.7	6.7	0.0
中国	66.7	33.3	20.0	13.3	0.0	0.0
四国	85.7	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0
九州	75.0	25.0	18.8	0.0	6.3	0.0
黒字旅館	84.2	16.8	8.4	7.4	6.3	2.1
赤字旅館	61.4	37.5	19.3	8.0	6.8	2.3
ホテル	84.6	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0

5.クレジットカード&電子決済 <表 36>

(1)クレジットカード決済

クレジットカード決済が可能な旅館は 94.8%で、地域別では関西、中国、九州が 100%でした。

大旅館：97.4% 中旅館：97.9% 小旅館：88.1%

(2)決済端末

決済端末を導入しているのは 93.3%となりました。地域別では関西、九州が 100%でした。

大旅館：97.4% 中旅館：96.9% 小旅館：84.7%

(3)〇〇Pay 等の事前決済の導入状況

キャッシュレス化が進み〇〇Pay 等の事前決済が可能な旅館は 69.1%となり、前年度から大きく増加しました。

地域別では北海道と四国が 80%を超えました。

大旅館：74.4% 中旅館：76.0% 小旅館：54.2%

(4)カード&電子決済の割合

旅館全体の決済の中でカードと電子決済の割合が 29.3%となり、前年度から大きく増加しました。

むすび

今回の調査では新型コロナウイルス感染症の影響による売上・利益の減少がある旅館もあり、従来とは違った調査結果になりました。調査にご協力頂いた会員の皆様に感謝申し上げます。

令和 2 年度調査（令和 3 年 8 月から調査実施予定）からはインターネットによる調査にすべく現在システムを開発中です。より簡単に回答出来るようになり、経営に役立つ指標も掲載しますのでご協力宜しくお願い申し上げます。

表 3 6 クレジットカード&電子決済 （単位：％）

	クレジットカード決済		PayPal等 事前決済 が可能	〇〇Pay 等事前決 済が可能	カード&電子 決済の割合
		決済端末を 導入			
旅館	94.8	93.3	66.0	69.1	29.3
大旅館	97.4	97.4	66.7	74.4	24.7
中旅館	97.9	96.9	72.9	76.0	29.4
小旅館	88.1	84.7	54.2	54.2	33.6
北海道	93.8	87.5	75.0	81.3	27.6
東北	95.2	95.2	61.9	71.4	25.7
関東	90.3	90.3	67.7	71.0	46.3
北陸信越	91.7	91.7	58.3	62.5	30.9
中部	91.7	91.7	66.7	75.0	30.6
関西	100.0	100.0	56.3	59.4	19.8
中国	100.0	93.3	60.0	60.0	32.1
四国	93.3	86.7	86.7	80.0	33.4
九州	100.0	100.0	75.0	68.8	16.7
黒字旅館	96.9	93.9	69.4	75.5	14.0
赤字旅館	93.5	93.5	62.0	64.1	12.4
ホテル	92.9	92.9	50.0	50.0	33.8

【要返送】
令和2年度 営業状況等統計調査票

直近の事業年度の決算等に基づいて記入し、
令和2年8月28日(金)までにご提出ください。

1

A. 業態と地域

業態		1. 主として夕食・朝食付きで販売している	2. 主としてルームチャージのみで販売している
----	--	-----------------------	-------------------------

地域	3	以下より該当する地域を選び、1から9の番号でお答え下さい。
----	---	-------------------------------

- 1 北海道 ……………北海道
- 2 東北 ……………青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 3 関東 ……………茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
- 4 北陸信越 ……………新潟県、富山県、石川県、長野県
- 5 中部 ……………福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 6 関西 ……………滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 7 中国 ……………鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 8 四国 ……………徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 9 九州 ……………福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

B. 客室数と面積

	和室の数			和洋室の数			洋室の数			合 計		
客室数	4		室	5		室	6		室	7		室

建物延べ面積	8		m ²
--------	---	--	----------------

C. 宿泊人員、営業日数等

収容定員	9		人
年間営業日数	10		日
年間販売可能客室数	11		室
年間延べ宿泊人員	12		人
旅行者経由の宿泊人員	13		人
ネット業者経由の宿泊人員	14		人
自社HPからの宿泊人員	15		人
宿泊人員のうち外国人	16		人
年間延べ日帰り食事利用人員	17		人
年間延べ利用客室数(宿泊のみ)	18		室

外国人の国籍

中 国	19		人
韓 国	20		人
台 湾	21		人
香 港	22		人
タ イ	23		人
米 国	24		人
英 国	25		人
その他	26		人

裏面に続く

E-1. 損益計算書(消費税除く)

年 月 日 ~

年 月 日

科目		金額		摘要	
人 員	宿泊人員	27	人	前ページ「年間延べ宿泊人員」の数値をご記入ください。	
	日帰人員	28	人		
客 室	年間販売可能室数	29	室		
	使用客室数	30	室		
	客室稼働率	31	%		
売 上	宿泊料理売上	32	千円		
	飲物売上	33	千円		
	売店売上	34	千円		
	その他売上	35	千円	上記の3つの売上区分以外の売上を記載して下さい。(日帰り売上等)	
総売上高		36	千円		
仕 入	期首棚卸残高	37	千円	期首棚卸残高の総額を記載ください。	
	料理仕入	38	千円	料理材料仕入	
	飲料仕入	39	千円	酒類、清涼飲料水などの仕入	
	売店仕入	40	千円	売店商品仕入	
	その他仕入	41	千円	上記の3つの仕入区分以外の仕入を記載して下さい。	
	期末棚卸残高	42	千円	期末棚卸残高の総額を記載ください。	
売上原価		43	千円	決算書の売上原価を記入してください。	
売上総利益		44	千円	決算書の売上総利益を記入してください。	
	人件費	45	千円	別途、経費計算用シートを同封しております。	
	営業費	46	千円		
	業務費	47	千円		
	管理費	48	千円		
	減価償却費	49	千円		
経費合計		50	千円		
営業利益		51	千円	決算書の営業利益を記入してください。(損失の場合△印)	
	受取利息・配当金	52	千円	預貯金の受取利息、株式の配当金等	
	雑収入	53	千円	売上げに該当しない収入、現金過剰等	
	家賃収入	54	千円	貸し地貸し家の賃貸収入	
	営業外収益	55	千円		
	支払利息	56	千円	借入金の支払利息、手形割引料等	
	雑損	57	千円	経費計上に該当しない支出、現金不足等	
営業外費用		58	千円		
経常利益		59	千円	決算書の経常利益を記入してください。(損失の場合△印)	

F. 貸借対照表

年 月 日現在

※直近の決算書よりご記入下さい。

借方				貸方			
科目		金額		科目		金額	
流動資産	60		千円	負債の部	流動負債	64	千円
固定資産	61		千円		(うち短期借入金)	65	千円
繰延資産	62		千円		固定負債	66	千円
					(うち長期借入金)	67	千円
				純資産の部 (資本金・剰余金)		68	千円
資産の部合計	63		千円	負債・資本の合計	69		千円

G. 就業者

区分	項目	就業者数	
常勤役員	70		人
正社員	71		人
パートタイマー	72		人

注3. 就業者数(正社員・常勤パートタイマー)は、各月末の就業者数の合計(12ヶ月分)を12で除した平均値をご記入下さい。

H. 従業員(正社員)の平均年齢は何歳ですか。

男性	73	歳	女性	74	歳
----	----	---	----	----	---

裏面に続く

I. 次の設問についてもよろしくご協力願います。 (該当する番号に「○」もしくは番号を右側の□(四角枠)にご記入ください。) **4**

Q1.サービス料について

1. サービス料(奉仕料)を設定している	2. 設定していない	75
(※予約段階でサ込み表示されていても、館内販売含め何らかの設定がある場合、設定しているにお答え下さい。)		

Q2.インターネット対応の状況について

① HP(ホームページ)の開設状況はいかがですか。	76					
1. 自社専用HPがある(次の2. は含まない)	2. 自社HPはなく、OTAだけで販売している					
3. 自社HPはない						
② HPの対応言語をお答えください。(複数回答)	77					
1. 日本語のみ	2. 英語	3. 中国語(繁体字)	4. 中国語(簡体字)	5. 韓国語	6. タイ語	7. フランス語
8. ドイツ語	9. スペイン語	10. その他()				
③ HPから即時予約することが可能ですか。	78					
1. はい	2. いいえ					
④ 即時予約可能なHPがある場合、その対応言語に○をつけて下さい。	79					
1. 日本語のみ	2. 英語	3. 中国語(繁体字)	4. 中国語(簡体字)	5. 韓国語	6. タイ語	7. フランス語
8. ドイツ語	9. スペイン語	10. その他()				
⑤ スマートフォンの対応のページがありますか。	80					
1. はい	2. いいえ					
⑥ スマートフォンから即時予約することが可能ですか。	81					
1. はい	2. いいえ					
⑦ 即時予約可能なスマートフォンページがある場合、その対応言語に○をつけて下さい。	82					
1. 日本語のみ	2. 英語	3. 中国語(繁体字)	4. 中国語(簡体字)	5. 韓国語	6. タイ語	7. フランス語
8. ドイツ語	9. スペイン語	10. その他()				
⑧ サイトコントローラー(手間いらず、ねっぱん、TLリンカーン等)を導入していますか。	83					
1. はい	2. いいえ					
⑨ 無料公衆無線LAN(フリーWi-fi)を設置していますか。	84					
1. はい	2. いいえ					
⑩ 【⑨の設問で1と答えた場合】 無料公衆無線LAN(フリーWi-fi)の設置場所はどちらですか。(複数回答)	85					
1. 全館	2. ロビー	3. 客室	4. 会議室	5. 宴会場	6. その他()	

Q3.外国人客の受け入れについて、近いと思われるものをお答え下さい。

1. 積極的に受け入れたい	2. 高単価の外国人客のみ受け入れたい	3. 日本人観光客を優先する	86
4. 外国人客は受け入れたくない			

Q4.入浴施設について

① 露天風呂の有無(複数回答)	87		
1. 一般的な露天風呂	2. 客室露天風呂	3. 貸し切り露天風呂	4. 無
② 温泉の有無	88		
1. 有	2. 無		

Q5.電子決済対応の状況について

① クレジットカードによる決済は可能ですか。	89		
1. 可	2. 不可		
② 決済処理にカード決済端末を導入していますか。	90		
1. 導入している	2. 導入していない		
③ 【②の設問で1と答えた場合】 どのカード決済端末を使っていますか。	91		
1. J-Mups	2. C-REX	3. JET-S	4. その他()
④ ネット予約時の事前決済(PayPal等)は可能ですか。	92		
1. 可	2. 不可		
⑤ クレジットカード以外の電子決済(電子マネー、○○Pay等)は可能ですか。	93		
1. 可	2. 不可		
⑥ 総売上高に占める電子決済の割合はどれくらいですか。			
	回答 94 %		

ご協力ありがとうございました。

【返送不要】

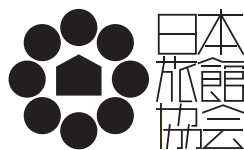
経費計算用シート

★調査表2ページ 45～50「経費」についての内訳です。このシートに沿って計算し、調査表に数値をご記入ください。

科目		金額	具体的な支出
役員報酬		円	役員報酬
給料	正社員	円	正社員の給与・役職手当・家族手当・交通費等
	パート	円	臨時社員給与・交通費等
	雑給	円	日払い等の臨時的な給与
退職金		円	退職金概算計上・中退金掛金
法定福利費		円	社会保険の事業所負担分
厚生費	制服・クリーニング	円	ユニフォーム・調理部制服のリネン
	社食・慶弔費	円	社食・賄・従業員の慶弔費・入社式研修時のお弁当代
	健診・検査費	円	健康診断、インフルエンザ・ノロウイルス等の予防接種費用
	懇親会	円	従業員懇親会費
	寮費	円	社員寮に関する経費(水道光熱費会社負担分、施設補修等)
外注・委託費		円	業務委託(客室係・客室清掃・食器洗浄・大浴場清掃等)
求人費		円	求人広告・求人WEB広告、採用に関する経費等
教育研修費		円	セミナー参加費・社内研修費用・社外研修費用
賞与引当金繰入		円	賞与の概算計上
人件費合計		円	人に関する経費
販売促進費		円	添乗員土産、キャンペーン等の景品、販促グッズ、ポイントカード等
営業所費		円	直営案内所・総合案内所の経費・通信費・手数料
営業交通費		円	出張旅費・ETC利用・タクシー代・駐車場代・その他交通費
接待交際費		円	お中元・お歳暮・慶弔等・餞別・ゴルフ・会食費等
広告宣伝費		円	ホームページ作成・管理費、パンフレット・チラシ・DM発送費等
販売手数料	旅行会社手数料	円	旅行会社・オンライントラベルの手数料、ポイント負担等売上に連動する経費
	カード手数料	円	クレジットカード会社手数料
	その他	円	旅行会社等の売上に連動しない協賛金・年会費・更新料・負担金等
営業費合計		円	お客様を集客する為の経費

裏面に続く

	科目	金額	具体的な支出
サービス費	リネン	円	浴衣・バスタオル・バスローブ・タオル・シーツ・ピロケース・包布
	客室消耗品費	円	お茶菓子・呈茶、客室内にセットしている備品消耗品・サービス品
	アメニティ	円	客室・大浴場等の化粧品、アメニティグッズ、タオル（お持ち帰り用）
	その他	円	
	備品消耗品費	円	食器、厨房用品、厨房使用備品・消耗品（使い捨て手袋、サランラップ等）
	装飾費	円	館内生花・賃借花・花瓶・装飾品
	その他備品消耗品	円	羽織、帯、カーテン、電気ポット、プリンター、布団、消火器、合鍵、スリッパ等 宴会消耗品（おしぼり・敷紙）、浴室関係備品消耗品、紙袋・包装紙・箸等
	修繕費	円	畳表替え・裏返し、施設補修関係、電気機器取替・修理等
	保守管理費	円	保守契約費（エレベーター等）、その他保守管理費
	衛生費	円	衛生関係消耗品（洗剤・除菌アルコール・トイレトペーパー・ゴミ袋）、ゴミ搬出費用、害虫駆除費等
	車両費	円	燃料、修繕、タイヤ交換、車検、車両に関するもの全般
	電気料	円	電気料
	水道・下水道	円	水道・下水道
	ガス	円	都市ガス・プロパンガス
	重油	円	
	温泉費用	円	温泉利用料等温泉に関する支出全般
水道光熱費	通信運搬費	円	郵送料・電話料・宅急便・NHK受信料
	業務費合計	円	お客様に直接関係する経費
雑費	リース料	円	リース料
	会費・組合費	円	旅館組合費、各種組織の会費・入会金等
	地代・家賃	円	土地代、家賃等
	顧問料・調査費	円	税理士、社労士、弁護士、司法書士、コンサルタント、産業医、 音楽著作権費用、外部視察、調査研究費、ISO審査料等
	保険料	円	生命保険経費計上分
	損保	円	火災保険、旅館賠償責任保険、自動車保険等
	固定資産税	円	固定資産税
	事業所税	円	
	その他諸税	円	不動産取得税、登録免許税、印紙税、自動車税、行政手数料
	事務用消耗品費	円	パソコン関連・コピー使用料・トナー・タイムカード・事務消耗品費
	新聞図書費	円	新聞・雑誌・書籍
	振込み手数料	円	振込手数料
	寄付金	円	寄付金
	その他雑費	円	どの科目にも該当しない経費
	管理費合計	円	旅館を維持するための経費
経費合計	減価償却費	円	
	経費合計	円	



一般社団法人 **日本旅館協会**
JAPAN RYOKAN & HOTEL ASSOCIATION

令和3年6月
営業状況等統計調査(解説編)

発行 一般社団法人 日本旅館協会
〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-5-5
全国旅館会館2階
TEL : 03-5215-7337 FAX : 03-5215-7338

本書を許可無く複製する事は固く禁じます。許諾については当協会までご照会下さい。